



「カテエネ」コラムでの情報発信

新型コロナウイルス禍での換気を考慮した冷房時の快適性について

背景・目的

- お客さまが楽しみながら省エネを実現していただくことを目的に、暮らしにおける豆知識について、省エネや快適性の効果を確認するための実験をおこなっています。
- その結果を家庭向けWebサービス「カテエネ」のコラムに掲載し、情報発信しています。

特長

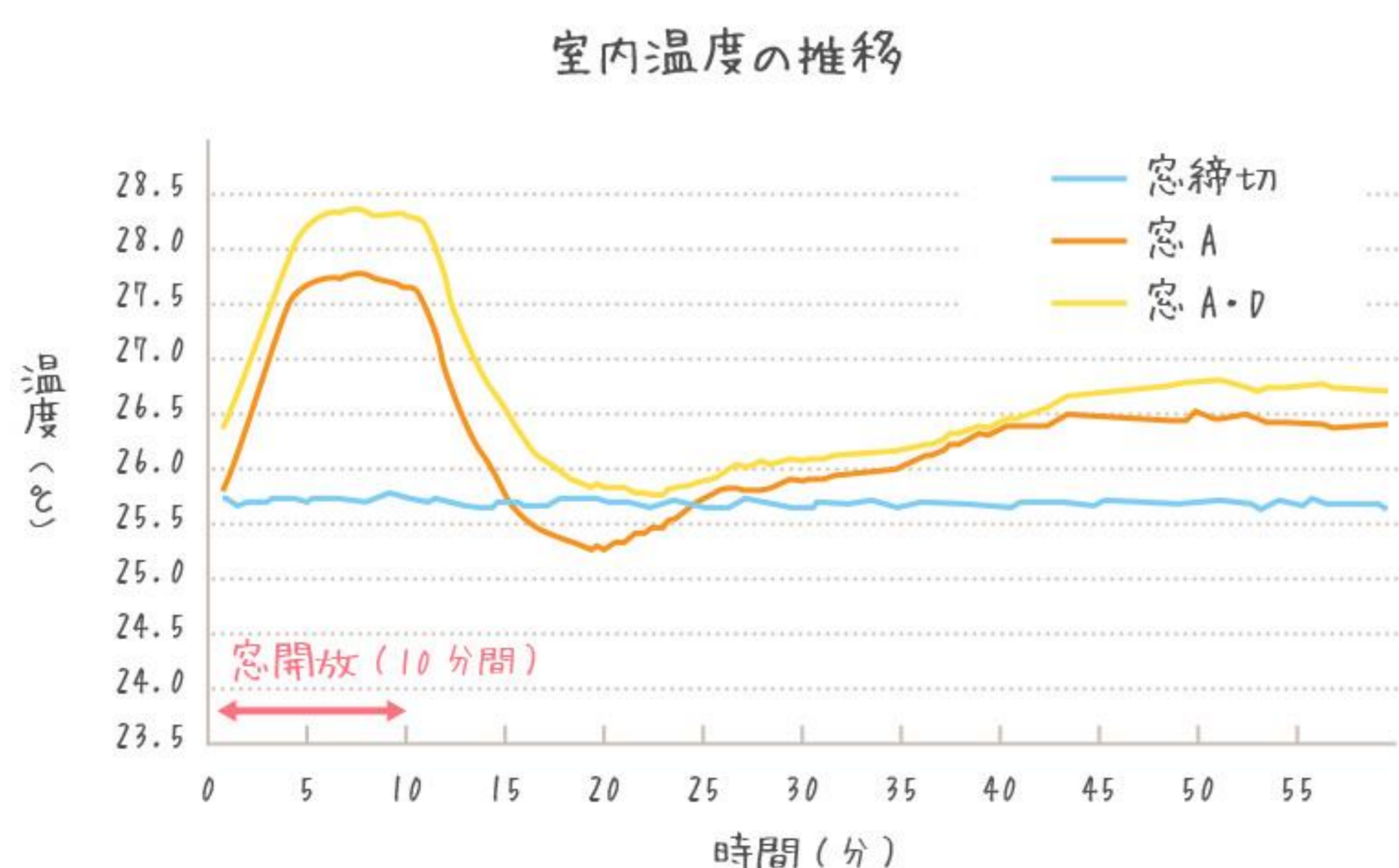
部屋の換気は必要だけど、熱中症も心配。
暑い夏、換気をしながら快適に過ごすには？

用途

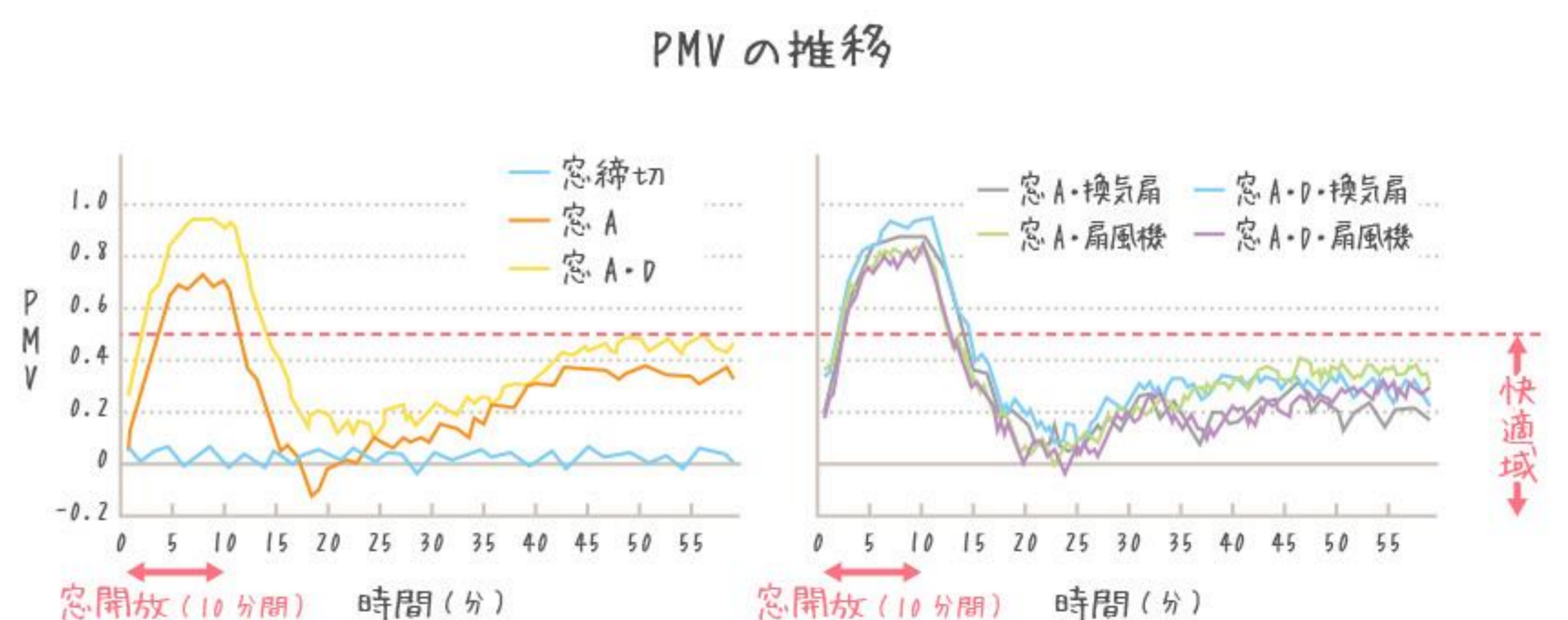
● 換気を考慮した冷房運転の提案

- ・換気回数2.0回/h ※を満たす換気方法を把握
※厚生労働省が推奨する、「換気の悪い密閉空間」を改善するための窓の開放による換気回数
→「部屋の対面にある窓を選び、10分間開け、その後50分間閉める。」
- ・室内温度は、窓を閉めてから5~10分程度で冷房の設定温度に戻る。
- ・快適性は、窓を閉めてから5分程度で快適域に戻る。
- ・電気料金は、約6.4円/h(19畳の居室)増加する。

換気時の室内温熱環境の評価



🐱 窓を閉めてから5~10分後には、設定温度(26℃)に戻る。



🐱 PMV(室内温熱環境)も、窓を閉めてから5分程度で、快適域(0~0.5)に戻る。

開発者のひとこと

新型コロナウイルスの蔓延に伴い、住宅でも換気に対する関心が高まっています。今後もより省エネとなる換気方法とエアコンの運転方法を模索していきたいと考えています。これからもお客さまに関心を持っていただけるようなテーマについて、情報発信をしていきたいと考えています。